令和６年播種（令和７年産）麦類作況試験生育状況（古川農試）〔４月１０日調査結果〕

１　気象概況〔3月下旬～4月上旬〕(図1)

・平均気温は、３月第５半旬、４月第２半旬で平年より高く、４月第１半旬は平年よりも低く推移した。
・日照時間は、４月第１、２半旬は平年よりやや少なく推移した。
・降水量は、３月第５、第６半旬、４月第２半旬で平年より少なく推移した。

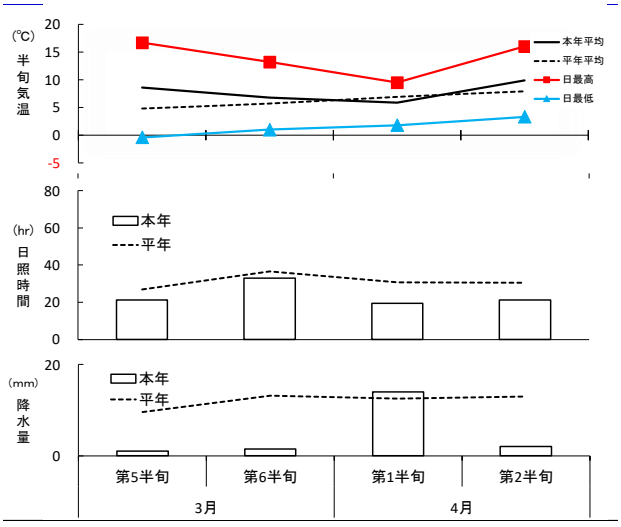

図１　気象経過（古川アメダス）

２　生育概況

１）４月 10 日現在の生育状況（表１）

10 月中旬播種区

・草丈は、大麦が平年より短く（平年比シュンライ 79%、ミノリムギ 76%、以下記載順同じ）、小麦は平年並～平年より短かった（平年比シラネコムギ 98%、夏黄金 86%、以下記載順同じ）。
・茎数は、大麦が平年より多く（平年比 121%、110%）、小麦が平年並～平年よりやや少なかった（平年比 105%、94%）。
・葉数は、大麦が平年並～やや多く（平年差+0.7 枚、+0.2 枚）、小麦が平年並～やや少なかった（平年差-0.3 枚、-0.5 枚）であった。
・葉色（GM 値）は、大麦は「ミノリムギ」が 42.1、「シュンライ」が 42.7、小麦は「シラネコムギ」が 35.5、「夏黄金」が 39.0 であった。

10 月下旬播種区

・草丈は、大麦が平年より短く（平年比 70%、81%）、小麦が平年並～やや短かった（平年比 92%、103%）。
・茎数は、大麦が平年より多く（平年比 122%、136%）、小麦も平年より多かった（平年比 122%、138%）。
・葉数は、大麦が平年よりやや多く（平年差+0.8 枚、+0.7 枚）、小麦が平年並～やや多く（平年差+0.5 枚、+0.4 枚）であった。
・葉色（GM 値）は、大麦は「シュンライ」が 46.5、「ミノリムギ」が 46.6、小麦は「シラネコムギ」が 42.3、「夏黄金」が 46.5 であった。

２）４月９日現在の幼穂長と生育ステージの予測（表２、３）

10 月中旬播種区

・大麦の幼穂長は、平年より短く（平年差シュンライ-1.1㎜、ミノリムギ-3.3 ㎜）、出穂期は「シュンライ」が４月 21 日、「ミノリムギ」が４月 26 日、開花期は「シュンライ」が４月 28 日、「ミノリムギ」が５月３日と予測される。
・小麦の幼穂長は、平年並～短く（平年差シラネコムギ-0.5 ㎜、夏黄金-1.1 ㎜）、出穂期は「シラネコムギ」が５月５日、「夏黄金」が５月３日、開花期は「シラネコムギ」が５月 15 日、「夏黄金」が５月 14 日と予測される。

10 月下旬播種区

・大麦の幼穂長は、平年並～短く（平年差シュンライ-1.8 ㎜、ミノリムギ-0.5 ㎜）、出穂期は「シュンライ」が４月 29 日、「ミノリムギ」が５月２日、開花期は、「シュンライ」が５月５日、「ミノリムギ」が５月７日と予測される。

・小麦の幼穂長は平年並（平年差シラネコムギ+0.4 ㎜、夏黄金+0.4 ㎜）で、出穂期は「シラネコムギ」が５月６日、「夏黄金」が５月４日、開花期は「シラネコムギ」が５月 17 日、「夏黄金」が５月 15 日と予測される。

表１　生育状況（４月 10 日現在）

	品種	区別	草丈(cm)			茎数(本/㎡)			葉数(枚)			葉色（GM値）		
			本年	前年比(%)	平年比(%)	本年	前年比(%)	平年比(%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
大麦	シュンライ	中旬播種区	24.6	74	79	847	147	121	10.7	−1.1	+0.7	42.7	−	−
		下旬播種区	17.8	59	70	782	125	122	9.6	−1.2	+0.8	46.5	−	−
	ミノリムギ	中旬播種区	23.7	68	76	862	141	110	10.5	−1.1	+0.2	42.1	−	−
		下旬播種区	20.3	62	81	951	125	136	9.6	−0.8	+0.7	46.6	−	−
小麦	シラネコムギ	中旬播種区	28.9	90	98	728	134	105	9.2	−1.5	−0.3	35.5	−	−
		下旬播種区	22.6	71	92	973	121	122	8.9	−0.7	+0.5	42.3	−	−
	夏黄金	中旬播種区	24.0	76	86	694	118	94	9.1	−1.4	−0.5	39.0	−	−
		下旬播種区	23.0	82	103	1016	109	138	8.5	−0.9	+0.4	46.5	−	−

注1）平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値。
注2）葉色は令和6年播種から測定を開始したため前年差、平年差はない。
注3）中旬播種区は令和6年 10 月 18 日播種、下旬播種区は令和6年 10 月 31 日播種

表２　幼穂長調査（４月９日現在）

	品種	区別	幼穂長(mm)		
			本年	前年差	平年差
大麦	シュンライ	中旬播種区	18.8	−32.8	−1.1
		下旬播種区	8.4	−25.0	−1.8
	ミノリムギ	中旬播種区	13.0	−16.6	−3.3
		下旬播種区	7.5	−18.1	−0.5
小麦	シラネコムギ	中旬播種区	5.3	−4.6	−0.5
		下旬播種区	4.6	−3.2	+0.4
	夏黄金	中旬播種区	6.3	−5.9	−1.1
		下旬播種区	5.0	−3.7	+0.4

注1）平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値。
注2）中旬播種区は令和6年 10 月 18 日播種、下旬播種区は令和6年 10 月 31 日播種

表３　減数分裂期、出穂期、開花期の本年予測値

	品種名	区分	減数分裂期			出穂期			開花期		
			予測値（月日）	前年値（月日）	平年値（月日）	**予測値（月日）**	前年値（月日）	平年値（月日）	**予測値（月日）**	前年値（月日）	平年値（月日）
大麦	シュンライ	中旬播種区	**4/12**	4/4	4/12	**4/21**	4/15	4/23	**4/28**	4/22	4/30
		下旬播種区	**4/22**	4/8	4/18	**4/29**	4/20	4/28	**5/5**	4/22	5/4
	ミノリムギ	中旬播種区	**4/17**	4/10	4/17	**4/26**	4/19	4/28	**5/3**	4/25	5/4
		下旬播種区	**4/23**	4/12	4/21	**5/2**	4/21	5/2	**5/7**	4/26	5/6
小麦	シラネコムギ	中旬播種区	**4/25**	4/18	4/24	**5/5**	4/26	5/3	**5/15**	5/5	5/13
		下旬播種区	**4/26**	4/21	4/26	**5/6**	4/28	5/7	**5/17**	5/6	5/16
	夏黄金	中旬播種区	**4/24**	4/17	4/24	**5/3**	4/26	5/3	**5/14**	5/5	5/13
		下旬播種区	**4/26**	4/20	4/26	**5/4**	4/28	5/6	**5/15**	5/6	5/15

注1）平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値。
注2）減数分裂期：幼穂長が3cm に達した日。
注3）出穂期：全茎の 40～50%が出穂した日。
注4）開花期：全穂数の 40～50%が開花した日。
注5）予測値は予測シート ver4.0 を用いた値。
注6）中旬播種区は令和6年 10 月 18 日播種、下旬播種区は令和6年 10 月 31 日播種
参考：麦類の生育ステージ予測シート Ver.4.0(追補)

令和６年播種（令和７年産）麦類生育調査ほ生育状況〔４月 10 日調査結果〕

表４　麦類生育調査ほ　生育状況

	品種	実施場所	草丈(cm)			茎数(本/㎡)			幼穂長(mm)			葉色（GM値）
			本年	前年比(%)	平年比(%)	本年	前年比(%)	平年比(%)	本年	前年差	平年差	本年
大河原	シュンライ	角田市島田	20.7	－	－	332	－	－	2.8	－	－	45.5
	ホワイトファイバー	大河原町金ケ瀬	33.1	122	－	1013	169	－	5.8	−5.1	－	47.7
仙台	シュンライ	仙台市宮城野区	36.9	72	－	424	76	－	27.8	−10.0	－	41.4
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	28.1	76	113	927	73	95	4.1	−2.3	+0.9	41.6
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	21.0	－	－	1327	－	－	1.6	－	－	44.3
	夏黄金	涌谷町猪岡	26.2	107	－	896	156	－	3.3	−2.7	－	51.4
登米	あおばの恋	登米市豊里町	35.3	88	118	566	69	83	2.7	−5.1	−3.0	38.5
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	31.1	57	81	658	91	82	13.1	−22.0	−4.7	49.6
	ミノリムギ	石巻市桃生町	36.4	102	122	890	126	133	13.9	−0.3	+6.8	44.3
	シラネコムギ	石巻市桃生町	30.6	98	－	856	110	－	2.6	−0.6	－	40.9

注１）平年値は、過去７か年中の値から、最高値と最低値を除いた５か年の平均値。
注２）大河原「シュンライ」は令和６年播種から調査値変更のため、前年値(比・差)、平年値(比・差)はない。
注３）大河原「ホワイトファイバー」は、令和元年播種から調査のため、平年値(比・差)はない。
注４）仙台「シュンライ」は、令和４年播種から調査のため、平年値(比・差)はない。
注５）美里「シラネコムギ」は令和６年播種から調査地変更のため、平年値・前年値(比・差)はない。
注６）美里「夏黄金」は令和元年播種から調査地変更のため、平年値(比・差)はない。
注７）石巻「シラネコムギ」は令和５年播種から調査地変更のため、平年値(比・差)はない。
注８）葉色は令和６年播種から測定を開始したため、前年値(比・差)、平年値(比・差)はない。

＜生育調査ほの状況等＞

大河原　「シュンライ」、「ホワイトファイバー」

・２月中下旬は降水量少ない。３月中旬に平年を上回る降水量であったが３月下旬は降水量が少なかった。４月上旬は平年を大幅に上回る降水量であった。
・気温は２月中旬から平年値を上回る状態が続いている。
・４月 10 日現在「シュンライ」では草丈は短く、茎数は少ない。幼穂長が 2.8 ㎜であることから幼穂形成始期は４月２日ごろと推測する。茎立期には達していない。「ホワイトファイバー」では幼穂長は 5.8㎜ で、昨年（10.9 ㎜）より小さい。幼穂長から推定される幼穂形成始期は３月 10 日ごろ、茎立期は４月７日ごろと推定される。

仙台　「シュンライ」

・３月の平均気温は、上中旬が平年並か高く、下旬は平年よりかなり高く推移した。
・３月上中旬は降水量が多い傾向であったが、３月下旬は少なかった。
・４月 10 日現在の生育量は、草丈 36.9cm、茎数 424.4 本/㎡、幼穂長は 27.8㎜ となっており、数日で減数分裂期に入ると推測される。

大崎　「シラネコムギ」

・気温は、３月第３、５、６半旬は高温で推移した。 日照時間は３月以降の高温期は多照で推移し、４月上旬は少照傾向であった。 降水量は、高温期は少雨、３月第１半旬 18.5 ㎜、第４半旬 24.5 ㎜、４月第１半旬に 14 ㎜の降雨があった。
・草丈は 28.1 ㎝、茎数は 927 本/㎡だった。葉色は 41.6（GM 値）と前回調査から低下している。
・幼穂長は 4.1 ㎜で、節間伸長が始まり茎立期を迎えている。生育ステージ予測シートと気象庁２週間予測を基にした試算では、減数分裂期は平年並の４月 27 日、出穂期は１日遅い５月７日と予測される。

・一部ほ場ではスズメノテッポウやタネツケバナなどの雑草発生が見られる。

美里　「シラネコムギ」、「夏黄金」

・「シラネコムギ」、「夏黄金」とも３月下旬の高温で急速に茎数が増加している。
・幼穂長は平年に比べやや遅れており、幼穂形成始期は夏黄金では３月 27 日。（シラネコムギはＲ７産からほ場変更したため、平年値なし）

登米　「あおばの恋」

・３月下旬の強風の影響で、葉が砂等で擦れて、枯れたようになった。回復してきているが、ほ場の半分以上で生育が遅れている。
・４月 10 日時点の幼穂長は 2.7ｍｍとなっており、幼穂形成期は４月４日ごろ、出穂期は５月 12 日ごろと予測される。

石巻　「シュンライ」、「ミノリムギ」、「シラネコムギ」

・３月の平均気温は平年差+0.1℃、日照時間は平年比 99％と平年並で、降水量は平年比 44％と少雨であった。
・４月 10 日の生育量は、「シュンライ」の草丈は 31.1㎝、茎数は 658 本/㎡、幼穂長は 13.1㎜だった。「ミノリムギ」の草丈は 36.4 ㎝、茎数は 890 本/㎡、幼穂長は 13.9㎜だった。「シラネコムギ」の草丈は 30.6 ㎝、茎数は 856 本/㎡、幼穂長は平年差 2.6㎜だった。